

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるカレニア ミキモトイ(注1及び、シャトネラ マリナ(注2がそれぞれ最大0.01細胞/ml確認されました。現在の細胞数は少ないですが、細胞数の急激な増加による被害発生の可能性も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

またプロロセントラム属が最大0.25細胞確認されました。当プランクトンは基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大0.28細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア ミキモトイ	シャトネラ マリナ	プロロセントラム属	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)				
片島(別図⑦) 採水時間 9:47 透明度 2.5 m	1.0	26.4	30.3	6.3	0	0	0.07	0
藻津①(別図⑨) 採水時間 10:00 透明度 4.0 m	2.0	26.4	31.6	6.2	0	0	0.25	0
大島中央①(別図⑤) 採水時間 10:07 透明度 7.5 m	3.0	26.6	33.1	5.7	0	0.01	0.11	0
青瀬山(別図③) 採水時間 10:19 透明度 8.0 m	3.0	26.5	33.2	6.3	0	0.01	0.17	0.28
一切田(別図⑩) 採水時間 10:23 透明度 8.5 m	3.0	26.5	33.3	6.4	0	0	0.05	0
弘浦②(別図①) 採水時間 10:34 透明度 2.5 m	1.0	26.5	31.7	6.4	0.01	0.01	0.11	0
田ノ浦(別図⑧) 採水時間 10:47 透明度 0.2 m	1.0	26.2	31.3	5.7	0	0	0.05	0

※被害が想定される赤潮プランクトンの細胞密度

注1. カレニア ミキモトイ・・・注意報:10細胞/ml、警報:500細胞/ml

注2. シャトネラ マリナ・・・注意報:1細胞/ml、警報:10細胞/ml

「赤潮・貝毒プランクトンの調査について」は当所ホームページ内の「宿毛湾赤潮情報」(URL: <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040406/akasio.html>)においてもご覧いただけます。